

JIS X 0201 は、日本の文字コード規格で、ASCII に類似した 1 バイトコードを定めるものです。ISO/IEC 2022 に整合的なコードです。標題を「7 ビット及び 8 ビットの情報交換用符号化文字集合」といいます。1969 年に制定されました。最新版は 1997 年改正のものです。

符号化文字集合の概要

ラテン文字集合、片仮名集合という 2 つの符号化文字集合を定義しています。これら 2 つは組み合わせて、あるいは単独で用いることができます。

組み合わせる場合は、制御文字 SI/SO で符号化文字集合を切り替える 7 ビットの符号か、あるいは GL 領域にラテン文字集合、GR 領域に片仮名集合を割り当てる 8 ビットの符号として用います。

ラテン文字集合

ラテン文字集合は ASCII ならびに ISO/IEC 646 国際基準版とほぼ同じですが、2 文字のみ異なります。符号位置 5/12 (0x5C) がバックスラッシュでなく円記号、7/14 (0x7E) がチルダでなくオーバーラインと定められています。ただし、7/14 の実現字形としてはチルダの形も認められています。ラテン文字集合は JIS 版の ASCII とみなせることから「JISCI」という呼ばれ方もしてきました。

片仮名集合

片仮名集合は俗に「半角片仮名」と呼ばれることもある 1 バイトのコードです。ただ、JIS X 0201 は文字幅が半角であることを規定するものではありません。JIS X 0201 の規格票の例示字形も半角幅で印刷されてはいません。この規格に限りませんが、文字幅はフォントや出力機器次第です。文字コードについて「半角片仮名」や「半角英数字」というのは誤解を招く表現です（全角・半角というのは印刷における印字幅を表す用語であり、文字の符号化とは無関係）。

JIS X 0201 片仮名集合においては、濁点・半濁点の付いた片仮名には独立した符号位置が与えられていません。濁点と半濁点それぞれ自体に対応する符号位置があるので、例えば「ガ」を表すには「カ」「ゝ」という 2 文字の列として表す必要があります。なおこの濁点・半濁点は Unicode にあるような合成用の文字ではなく、前進を伴う文字とされています。

JIS X 0213 との関係

JIS X 0213 の規格では、JIS X 0213 を JIS X 0201 ラテン文字集合と組み合わせて用いる符号化方式も定義されています。

JIS X 0213 は JIS X 0201 の文字を全て含んでいます。JIS X 0208 も多くを含んでいます。アポストロフィ、二重引用符（開き・閉じの区別のないもの）、ハイフンマイナスはありませんでした。

他のコードとの関係

シフト JIS

JIS X 0201 の 8 ビット符号 (GL にラテン文字集合、GR に片仮名集合を呼び出した状態) は、Shift JIS ならびに Shift JIS-2004 のベースとなっています。

ISO-2022-JP

インターネットの電子メールに用いられてきた ISO-2022-JP では、エスケープシーケンス によって JIS X 0201 ラテン文字集合を指示して用いることができます。バイト列「1b 28 4a」が出現するとそこから先は JIS X 0201 ラテン文字集合として解釈されます。ただ、通常は ASCII を使えばいいので、実際に用いる必要性は(少なくとも今日では)小さいでしょう。

なお ISO-2022-JP では JIS X 0201 片仮名集合は用いるようになっていません。片仮名は JIS X 0208 にあるので JIS X 0201 片仮名集合は不要なためです。一般に言う「メールに『半角片仮名』は使えない」というのはこれによります。

Unicode (ISO/IEC 10646)

JIS X 0201 の規格内に、各文字の Unicode (ISO/IEC 10646 UCS) との対応する文字名が規定されています。これに従ってコード変換ができます。例えば、数字の「9」には DIGIT NINE、片仮名の「ア」には KATAKANA LETTER A と記されています。(JIS X 0201:1997 の表 1、表 2 を参照のこと)

参照情報

JIS X 0201 のコード表は、ISO-IR の文書で参照できます。(ラテン文字集合、片仮名集合。なお、このリンク先では旧規格番号で JIS C 6220 と記載されています)

規格票は JSA Webdesk で購入できます。

関連項目

- ・ ISO/IEC 646 - JIS X 0201 ラテン文字集合はこの枠組みに則った日本版。
- ・ ASCII
- ・ Shift JIS ならびに Shift JIS-2004 - JIS X 0201 の 8 ビット符号 (JIS X 0201 の 6.4 節) の未使用の符号位置に 2 バイト漢字コードを变形のうえ詰め込んだコード